

2010年版 現代葬儀白書

高齢社会となったわが国では、独居老人の孤独死や、亡くなった高齢者を高齢者が送る「老々葬」の問題を考えなければならなくなっています。葬儀を取り巻く環境が大きく変化するなかで、葬儀の形式も多様化し、葬儀の要・不要までが議論されるようになりました。人生の終焉をどのようにするかということは大きな関心事と言えるでしょう。

弊社は、実際に葬儀をされた人の意識、実態を探る調査を実施し、「現代葬儀白書」としてこれまで発表してきましたが、今回11年ぶりに実施しました。

(本調査は、1977年、80年、83年、87年、90年、93年、96年、99年と実施しました)

調査対象は、1都3県(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)在住の40代以上の男女で、2009年8月～2010年7月に喪主または喪主に準じる立場で葬儀を施行された方400人を抽出し、集計・分析しました。

喪主に準じる立場とは、喪主ではないが葬儀費用の収支を把握するなど葬儀の内情に通じる立場の方
本調査では、初七日までを葬儀と定義

斎場や菩提寺、教会などで葬儀をせず、お亡くなりになった場所から火葬場へ直行し火葬する「直葬」は、集計データとして加えた際、葬儀費用全体の数字に大きな影響が出るため本調査では対象外としました
本調査のデータは、小数点以下第2位を四捨五入したことによる誤差のため、数値合計が100.0%にならない場合があります

この件に関するお問い合わせは下記までお願いします。

㈱くらしの友 総合企画部

杉山、仲山、阿部、静

TEL 03 - 3735 - 5357

調査要約

1. 葬儀の費用総額は、平均 242.3 万円。99 年調査比で 124.4 万円 (33.9%) 減 (P3)
2. 葬儀費用の総額に対する実感は、約 7 割が支払った金額に納得 (P4)
3. お寺に要した費用に対する実感は、約 6 割が支払った金額に納得 (P5)
4. 「香典」を葬儀費用の原資に挙げた人は大幅減 (P6)
5. 通夜、告別式の会葬者平均人数は、のべ 118.4 人。会葬者 99 人以下の葬儀が半数以上に (P7)
6. 7 割弱が「病院」で亡くなる (P8)
7. 葬儀を行った場所は「斎場」が約 8 割。「自宅」はひと桁台に (P9)
8. 葬儀の手伝いは、「職場の同僚」が激減 (P10)
9. 香典返しのタイミング…「葬儀当日」、「葬儀当日、四十九日の両方」が倍増 (P11)
10. 葬儀について、「故人または家族の間で生前に相談」は、約 3 人に 1 人 (P12)
11. 葬儀の通知は「故人のつながりを中心に知らせた」が半数 (P13)
12. 3 割の人が、葬儀で「困ったことがあった」 (P14)
13. 病院からの葬儀業者の紹介は減少 (P15)
14. 葬儀後に意識的にしていること…身近なところで故人と向き合う人が多い (P16)
15. 葬儀についての回答者の意識 (P17 ~ 19)